

第82回 通常総会 藏内会長挨拶

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏内 勇夫



公益社団法人日本獣医師会第82回通常総会の開催に当たり一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、全国の地方獣医師会の代表者の皆様方には、ご多忙のところご出席を賜り、誠にありがとうございます。

本日は公務ご多用にもかかわらず、多くのご来賓にご臨席をいただきました。環境大臣 浅尾慶一郎先生、自由民主党獣医師問題議員連盟会長代行 衆議院議員 森 英介先生、自由民主党ワンヘルス推進議員連盟会長代行 参議院議員 武見敬三先生、公明党獣医師・動物看護師議員懇話会幹事長 衆議院議員 河西

宏一先生、さらに、関係省庁から、農林水産省消費・安全局長 安岡澄人様、厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部長 鷺見 学様、文部科学省大臣官房審議官 奥野 真様、関係団体から、公益社団法人日本医師会会長 松本吉郎様、公益社団法人中央畜産会 専務理事 近藤康二様、この他にも多くの国会議員、関係省庁、団体の方々にご出席を賜ることができました。

日頃の私ども日本獣医師会に対するご支援・ご指導に重ねて心から厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年の総会で私は昨年4月に世界獣医師会（WVA）次期会長に就任したことをご報告申し上げます。また、アジア獣医師会連合（FAVA）会長につきましても、昨年10月に2年間の任期を終了し、引き続き新たに設けられた顧問に就任したところです。

これまでの私のFAVA会長在任中の多大なるご支援に改めてお礼を申し上げるとともに、引き続きWVA次期会長として獣医師の地位の向上と国際的な社会貢献、及びわれわれが抱えております課題解決に取り組んでまいります。

そして、その取組みの大きな一歩として、世界から獣医師が一堂に会し、ワンヘルスの実践活動の取組み推進を決起する機会として、ご案内のとおり来年4月21日から24日までの間、東京国際フォーラムにて第41回世界獣医師会東京大会を開催いたします。

大会の記念講演では北海道大学の喜田 宏先生にご講演をいただくほか、充実したプログラムを準備しており、海外の獣医師とともに国境を越えた、ワンヘルスの実践活動のさらなる推進を図るためにも、会員構成獣医師の皆様におかれましても特段のご支援、ご参加をよろしくお願い申し上げます。

また、国内の課題である販売犬猫のマイクロチップの装着・登録については、本制度の適正な運用及び装着・登録の推進が図られるよう、獣医師の役割及び責務の法的な明確化、獣医師による登録情報の全面的な検索の認可等に関して、動物愛護管理法の一部改正等を強く要請してきたところです。

一方、現在取り組んでいる、狂犬病予防法に基づく自治体事務のDX化については地方獣医師会事務局を対象に「犬の登録支援システム」の導入に向けた説明に努めております。

本システムにより確実な登録手数料の徴収に加え、将来的にはワクチン接種情報も一体的に運用することを見込んでおります。地方獣医師会におかれましては、常日頃より県内市町村と緊密な連携の下、狂犬病集合注射をはじめ、狂犬病予防事業に献身的に取り組まれておりますが、これらの取り組みを推進することにより、国民のニーズに応えるとともに、地方獣医師会、会員構成獣医師にとっても有用な事業となるよう尽力してまいります。引き続き、ご理解・ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

また、家畜の伝染病に関しては、豚熱に加え、冬季の全国における野鳥や家きんの鳥インフルエンザ、さらに昨年11月の国内初となるランピースキン病が発生している中、本年1月に開催された年次大会会場において第1回の資格認定試験を実施した本会の「農場管理認定獣医師」が誕生いたしました。この認定獣医師を各農場の担当獣医師に位置付け、養豚農場における豚熱ワクチン接種の方策を含め、農場の飼養衛生、経営管理等全般を管理する体制を構築し、わが国の家畜防疫の支援の強化に努めたいと考えております。

なお、関連して農林水産大臣による専門性認定要件確認機関として指定された、本会の「認定・専門獣医師協議会」においても、同省の指導の下、このような認定・専門獣医師の高位平準化を図り、認定・専門獣医師制度の信頼性の確保に努め、飼い主への獣医師の専門性の情報提供等、引き続き獣医療サービスを正しく理解し選択できるよう進めてまいり所存です。

そのほか、獣医師と愛玩動物看護師によるチーム獣医療の推進、公務員獣医師及び産業動物獣医師の処遇改善と人材確保、犬の飼育率の向上による動物と暮らす豊かな社会生活の維持等の国内対策や、アジア地域の獣医師の研修事業等を通じての国際貢献等、本会が取り組むべき課題は山積しています。加えて、現在最優先で取り組んでいる本会の事務・事業の経費削減・事業の見直しについては、各種事業等の見直しの進捗状況の確認に加え、事務局体制の効率化を図るとともに、収益を見据えた新たな事業の在り方についても検討し、健全な財政運営に向け、できることから着実に対応してまいります。

これらの諸課題につきましては、本会と地方獣医師会が一体となって解決に尽力していく必要がありますので、今後とも、地方獣医師会、会員構成獣医師の皆様方のご理解とご協力につき、何卒よろしくお願いいたします。

本総会においては、昨年度の事業報告及び決算、さらに本年度の予算及び事業計画、さらに今後2年間の役員の選任等の重要な議案を上程しております。ご出席の皆様方には、忌憚のないご意見をいただき、今後の日本獣医師会の活動を一層活発で意義あるものとしていきたいと考えておりますので、何卒よろしくお願いいたします。